

Topics

研究講演会のご案内

平成20年度「四国工業研究会 第1回次世代バイオナノ研究会」

1. 日 時:平成20年7月30日(水) 13:00~17:00

2. 場 所:産業技術総合研究所四国センター 講堂
(高松市林町2217-14)

3. 参加費:無料(交流会:会費1000円)

4. 主 催:四国工業研究会 次世代バイオナノ研究会
産業技術総合研究所 健康工学研究センター
" 四国産学官連携センター

共 催:(財)四国産業・技術振興センター

後 援:四国経済産業局(予定)

5. 内 容:

(1)挨拶(13:00~13:05)

次世代バイオナノ研究会 主査 馬場 嘉信 氏

(2)講演1(13:05~13:55)

「テーマ タンパク質をテンプレートとしたナノエレクトロニクスデバイスの開発」

松下電器産業株式会社 先端技術研究所 主幹研究員
奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科
客員教授 山下 一郎 氏

(3)講演2(13:55~14:45)

「テーマ 神経情報伝達に係わる機能分子を利用したリガンドセンサーの開発」

産業技術総合研究所脳神経情報研究部門
副研究部門長 久保 泰 氏

(休憩および名刺交換:20分程度)

(4)講演3(15:05~15:55)

「テーマ 生理情報を用いた心の状態評価に関する研究」

産業技術総合研究所人間福祉医工学研究部門暮らし情報工学 グループ(兼)サービス工学研究センター
研究員 吉野 公三 氏

(5)意見交換(15:55~17:00)

(6)交流会(17:00~17:45)

http://unit.aist.go.jp/shikoku/gaiyou/h20%207bionano_1.html

第6回「溶接・表面改質フォーラム」開催のご案内

ご興味のある企業、研究機関等の皆様には是非ご参加いただきたくご案内申し上げます。

またフォーラムでは、課題解決の参考と資するための溶接・表面改質の専門家によるセミナー及びセミナー後に名刺交換会を行います。

開催日時:平成20年7月23日(水) 13:00~17:30

開催場所:産業技術総合研究所 四国センター 1階 講堂

(住所:香川県高松市林町2217-14)

主 催:溶接・表面改質フォーラム
共 催:産業技術総合研究所四国センター
後 援:四国経済産業局、溶接学会四国支部、
高温学会四国支部

内 容

1. 主催者挨拶

多田野 榮 溶接・表面改質フォーラム会長挨拶
産業技術総合研究所 四国センター 宮本所長挨拶

2. プレゼンテーション

座 長:コーディネーター
産業技術総合研究所四国センター 勝村 宗英

講 演:

(13:10~13:50)

経済産業省 製造産業局参事官室

調査第1係長田中 亮太 様

「我が国ものづくり基盤技術の現状と課題」
~2008年版ものづくり白書から~

(13:50~14:10) 質疑応答

(14:10~14:50)

(株)HI検査計測研究開発事業部

生産技術部 大脇 桂 様

独立行政法人 産業技術総合研究所

四国センター主任研究員 小川 洋司 様

「レーザ・アークハイブリッド溶接現象とその応用」

(14:50~15:10) 質疑応答

(15:10~15:20) 休 憩

(15:20~16:00)

大阪大学接合科学研究所 教授村川 英一 様

「溶接変形の発生メカニズムと予測・評価技術について」

(16:00~16:20) 質疑応答

(16:20~17:00)

川崎重工業株式会社 理事

システム技術開発センター 製造技術部

部長古賀 信次 様

「溶接施工における歪・変形の発生事例とその防止対策」

(17:00~17:20) 質疑応答

3. 閉会(17:20)

4. 交流会(名刺交換等)(17:20~17:30)

参加費 無 料

http://www.s-tbf.net/contents/event/cat5/6_5.html

問合せ先(財)四国産業・技術振興センター

技術開発部 松本、白石

〒760-0033 香川県高松市丸の内2番5号

Tel:(087)851-7081 Fax:(087)851-7027

ニュース

四国経済産業局より

「四国地域イノベーション創出共同体形成事業」は、(財)四国産業・技術振興センターと(独)産業技術総合研究所の共同提案事業が採択されました。

本事業では

「共同体形成促進事業」として四国全域の大学や公設試といった研究機関等が結集し、四国地域イノベーション創出協議会(仮称)を設立します。

同協議会には「地域食品・健康分科会」「高機能紙分科会」「素材加工分科会」の3分科会を設置します。

「技術支援協働事業」として、「ワンストップ支援体制」を構築します。

「研究開発環境支援事業」として、精密複雑形状の加工ノウハウや技術指導等の参考となる「マニュアル」を作成とともに、技術相談等に対応する仕組みを構築します。

http://www.shikoku.meti.go.jp/soshiki/skh_b1/techno/1_sesaku/080710-2/inobesaitaku.pdf



「第31回メカトロニクスフォーラム」 特別講演会「光計測とバイオ計測への応用」の報告

平成20年6月25日(水)四国センター講堂において、精密工学会知能メカトロニクス専門委員会の総会に合わせ「第31回メカトロニクスフォーラム」を共催しました。

香川大学、香川県産業支援財団等の後援により、宇都宮大学の谷田貝先生に「光計測とバイオ計測への応用」と題し、ご講演いただきました。高精度光干渉計測法を用いた光干渉断層映像法を生体計測に応用した事例を紹介していただき、活発な議論が行われました。

同時に産業技術総合研究所四国センター見学会として、太陽光発電システム、生体ナノ計測チームとバイオデバイスチームの実験室の見学をしました。当日は関係機関研究者等、約30名の参加がありました。

http://unit.aist.go.jp/shikoku/event/20080625_houkoku.html



Aist Today

地域センター 一般公開の日程を掲載

今年も、公式HP内に、全国の地域センター 一般公開の情報を一覧できるページを設置いたしました。トップページ右の「Pick Up!」からご覧いただけます。今後、随時リンクを追加していく予定です。

<http://www.aist.go.jp/pr/koukai/2008.html>

プレスリリース

5日 自由自在に設計したカーボンナノチューブ3次元デバイスを実現

(ナノチューブ応用研究センター)

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2008/pr20080505/pr20080505.html

16日 水素ガスバリア性の高い粘土膜プラスチック複合材料を開発

(コンパクト化学プロセス研究センター)

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2008/pr20080516/pr20080516.html

19日 強誘電体NANDフラッシュメモリーで書き換え回数従来比1万倍を実証

(エレクトロニクス研究部門)

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2008/pr20080519/pr20080519.html

23日 ソフトウェア信頼性技術の研究開発・人材養成の産学官連携活動を強化

(関西産学官連携センター、システム検証研究センター)

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2008/pr20080523/pr20080523.html

メールマガジン(産総研Topics!) NO.27より抜粋

<お知らせ>

メールマガジン(産総研Topics!)は産総研ホームページより申し込みます。